

## 原小だより



かかわりの中で...

「心ゆたかに、ともに学ぶ子」

校長 桃井 陽子

すべてのものが清らかで生き生きとする清明の候、桜咲く季節を迎えています。花冷えとあって、例年よりも桜の満開がゆっくりと訪れているようです。原小学校を取り巻くたくさんの桜も咲き始め、一つ学年が上がって新しい気持ちで登校する子どもたちを迎える、満開のその咲き時を、今か今かと待ち構えています。

平成29年度がスタートしました。お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。今年度は169名の1年生を迎え、全校児童1,029名でスタートします。

4月4日、新6年生が新1年生の教室の飾りや清掃など新年度の準備のために登校しました。原小学校の新しいリーダーとしてきびきびと動くその姿を、とても心地よく、また頼もしく感じました。3月17日に行われた卒業証書授与式に在校生代表として参加した5年生の出浦梨玖さんの感想を紹介します。

卒業式に参加して、6年生のりっぱな姿が、とてもかがやいているように思えました。今まで原小を支えてくれた6年生が卒業するのはさびしかったけど、6年生が卒業するのを見て、自分が最高学年になるんだ、という自覚が高まりました。自分は代表で言葉を言うわけではなかったけど、集団として、視線、姿勢、声の大きさと感謝の気持ちを伝えられたかなと思います。来年は今の卒業生のようなりっぱな姿で卒業できるよう、原小を支えていける存在になりたいと思います。

よいゴールは、よいスタートにつながる。梨玖さんの言葉から自分のなりたい姿や心構えを感じます。昨年度末、6年生から少しずつリーダーのバトンを渡されてきた5年生。卒業式に在校生代表として練習から参加するというかかわりの中で、5年生一人ひとりの成長を感じました。うれしい限りです。

小学校6年間の大きな学びは、人とのつながりを通して自分らしさを見つめ、「自分づくり」をしていくことではないでしょうか。仲間同士、異学年の交流、教師や地域の人など様々な場面で多くの人とかかわる中で自分自身を成長させていくことです。人とかかわるといことは、自分と異なる考えや感覚をもつ人とも、互いに理解しあうてかかわっていかなければなりません。同じ考えでなく賛同できなくても、相手の立場や考えを知り、コミュニケーションをとりながら理解しあうことが必要です。自分と異なるよさをもった仲間を認め、生活の中で温かい関係を築くことができる子どもに育ってほしいと願っています。それが、「心ゆたかに、ともに学ぶ子」につながっていくと考えます。

原小学校では学校教育目標「心ゆたかに、ともに学ぶ子」を掲げ、子どもたちの健全育成をめざして教育活動に取り組んでまいります。目標に向けて、今年度も次のことを大切にします。

◆「一人ひとりが大切にされる学校」

子どもたちは様々な個性をもっています。互いに認め合い、力を合わせていこうとする気持ちを育てながら自尊感情を高めていくためには、一人ひとりにしっかりと向き合い、子どもの思いや願いに寄り添い、その時々合った支援や指導を進めていくことが大切であると考えます。子どもたちのよさを伸ばし、学校に来るのが楽しい!と思えるような学校づくりを進めます。

◆「チーム原」

学校は、一人ひとりの子どもを様々な教職員で見守り、育てていきます。子どもと担任という関係だけでなく全教職員で共通理解を図りながら、その子らしい成長を支援していきます。毎日の学校生活では、楽しいことばかりではなく、時には心配なこともあるかもしれません。そのような時にも、担任はもちろん、学年主任や養護教諭、児童支援専任や学校カウンセラーなど他の教職員にもご相談いただけたらと思います。

子どもたちの輝く笑顔のために「全児童を全教職員で育む」という姿勢で「チーム原」、教職員一同一丸となって取り組みます。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も変わらぬご理解とご協力をどうぞよろしく願いいたします。



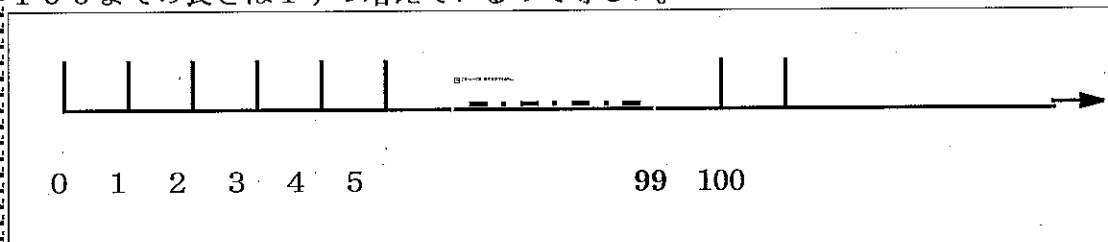
まじめに、がんばる そして、0からの挑戦！！

校長 桃井 陽子

新緑が目まぶしく、躍動感あふれる季節を迎えています。正に今伸びようとする子どもたちの姿そのものです。平成29年度が始まり、一ヶ月がたとうとしています。子どもたちは新しい担任の先生や学年の先生、クラスの友達と元気いっぱい過ごしています。

朝、登校する子どもたちを門で出迎えていると、班長さんが後ろの班のメンバーを気遣い、安全のために道路のはじめを一列になって歩いたり、1年生にあわせて歩く速さを工夫したりしていることが分かり、うれしくなります。気持ちのよい挨拶もかわすことができ、さわやかな気分。掃除の時間には、誰に見られていなくても、すみずみまできれいに掃除する子どもの背中があり、思わず「きれいになりますね、ありがとう。」と声をかけます。6年生のペア学年活動の一環として、給食の時に6年生が1年生の教室に行き、牛乳パックの開き方をやさしく教える姿があります。6年生のやさしいまなざしと1年生の安心しきった表情は、心が温かくなります。週1回、木曜日は朝読書の時間です。27日は3年生の読み聞かせがあったので、その様子を見たいと教室を回ると、本の世界に入り想像の翼をきつと広げているのでしょうか、どの教室でも自分の本を真剣に読む姿がありました。3年生の教室では机を後ろに下げ、読み聞かせをしてくださっている、その本に視線が集中していました。職員室に用事があって来る子どもたちの緊張しながらも、用件をしっかりと伝えようとする顔。自分のノートに学習したことを丁寧に書こうとする手の動き。これらは、すべて、その時々やるべきことをやる「まじめにがんばる」姿です。

24日の朝会では、こんな話をしました。「0の話」です。朝会であいさつお順に話をされていて、⑩になりました。「0」という数字を示した後、画用紙に書いた数直線を示しました。0から1、2から3、99から100までの長さは1ずつ増えているので等しい。



けれども「心の数直線（数の線）」の長さは異なる。0から1が長い。それはなぜでしょう？それは、何かを

始めようとする時、その一歩を踏み出すには、勇気が、エネルギーが必要であること。だから、0から1が長い。でも自分が決めたこと、その一歩を踏み出せば、喜びや達成感、もつとがんばろう、次もがんばろうという気持ちがわいてくる。99、100さらに101というように続いていく。ぜひ「0からの挑戦」をしてほしい。要約するとこんな話です。4月は新しい自分のスタートの時。子ども一人ひとりがこんなことをやろう、こんな自分になろうと決めて、自分を成長させてほしいと思いました。学年に応じて、一人ひとりの思いに応じて、「心の数直線」の一目盛りの幅も違ってくるかもしれませんね。

私は子どもたちの、どんなことでもいい「まじめにがんばる」姿が大好きです。また「まじめにがんばる」ことが楽しいと感じる、そしてそれを、すてきだね、がんばっているねと認め合える子どもたちになってほしいと思います。子どもたちは、未来の担い手、将来を担う一人ひとりです。その時々やるべきことを「まじめにがんばる」ことの積み重ねや「0からの挑戦」が、自分の未来をたくましく切り拓いていく力となるでしょう。失敗をしてもよい、へこたれず、それを乗り越えて、またがんばろうとする子どもたちに寄り添い価値付け、その子ならではの一步やがんばり、育ちを認め、支えたいと思います。



## 支える力

副校長 高嶋 聡

先日の原小オリンピックには、多くの保護者、地域の方々、来賓の方々にご参観をいただき、ありがとうございました。天候にも恵まれ、積み重ねてきた練習の成果を子どもたちが精一杯発揮する姿をご覧いただくことができました。各学年の演技では、低学年の伸び伸びとしたかわいい姿、中学年の生き生きとした元気いっぱいの姿、高学年らしいまとまりと迫力のある姿を子どもたちは見せてくれました。個人種目や学年競技でも、最後まで力を尽くす姿が素晴らしかったと思います。運動会の中で、子どもたち一人ひとりの成長を感じていただけたら幸いです。

運動会の開催に向けて、学校では前年度から計画を練り、4月後半からは子どもたちと共に準備を進めてきました。原小では、5・6年生で原オリ実行委員会を組織し、運動会に必要な様々な仕事を分担し準備を進めます。全校種目や原オリ体操、審判や放送など全部で16もの実行委員会があります。前年度までの活動を参考にしながら、どのような内容にするか、準備の進め方、担当など様々なことを子どもたち自身が考え、話し合っ取り組んでいきます。このような活動を通して、運動会という大きな行事を成功させるには、とても多くの準備や仕事が必要なこと、それを担当した一人ひとりに大きな責任があること、そして自分たちの力でより良い運動会を作り上げていくことができるということを学んだのではないのでしょうか。実行委員会の仕事に一生懸命に取り組んだ5・6年生一人ひとりが、運動会をしっかりと支えることができたという実感や多くの人の役に立つことの喜び、役割に取り組む楽しさを味わっていただけたら嬉しく思います。

運動会をつくり上げたのは子どもたちと職員だけではありません。PTA役員や保護者ボランティアの方々力も欠かせないものでした。PTA役員の方々は1カ月以上前から原オリを支えるために準備を始めていました。原小の子どもたち、保護者や来校された皆様が気持ちよく運動会の日を過ごせるようにと、きめ細かく計画を立て、改善すべきことを話し合い、準備を進めてくださいました。当日も、敬老席の受付や案内、来賓や福祉施設等の招待者の案内、校内外のパトロールや駐車場の誘導、広報誌の写真撮影、昼食場所の列の管理、そのほか様々な仕事を行っていただきました。教職員が子どもたちに向き合っ運動会を進められるように、たくさん補っていただきました。本来は、お子様の運動会をゆっくりと楽しんでいただきたいところですが、お子様の参加する種目の合間を縫っお仕事をしてくださいました。また、花ボラ（環境整備ボランティア）の方々は、運動会当日に向けて円形花壇や70周年記念花壇の花の苗植えや草取りを行ってました。そして、運動会終了時には、テント等会場の片づけに多くの保護者の方にお手伝いをいただき、驚くほど短い時間で片づけを終えることができました。本当に多くの方々に支えられての原オリでした。心より感謝しています。

原小学校では、日頃からとても多くの方々の支えをいただいております。毎朝の児童の安全な登校のために見守りや旗振りをしていただいている方々、学校内外を限なく見回り、学校の環境や児童の安全を見守ってくださる学援隊の方々、朝読書や中休みの読み聞かせ、図書室の本の修繕をしてくださる図書ボランティアの方々、いきいきキッズタイムに子どもたちの楽しい運動を支えてくださっている方々、個別支援級の学習活動を支えてくださっているボランティアの方々、クラブ活動ボランティアの方々、そして、様々なPTAの活動を計画し実践していただいている学年、成人、保健、広報、校外の各委員会の方々等ここには書ききれないほどのたくさんの支援によって原小学校は成り立っています。感謝の気持ちを表す機会は少ないのですが、職員一同感謝しております。

主役の子どもたちが、生き生きと、そして安心して楽しい学校生活を送れるのは、多くの皆様の支える力のおかげです。ありがとうございます。

はっきりと見えるものに目が行きやすいものですが、裏で支える目に見えない人々の努力にも目を向けることの大切さを子どもたちに伝えていきたいと思ひます。



## 感性を育むこと・・・

校長 桃井 陽子

ぽつぽつと咲き始めた1年生が育てているアサガオの花が、満開です。昇降口横にずらりと並んだその様は本当に見事としか言い様がありません。2年生は自分が育てたい野菜を選んでお世話をしています。ミニトマト、ナス、ピーマン、オクラに枝豆。「ナスは紫色をしているけど、花も茎も紫色だね。おもしろいね。」「うん、なんでだろう?」3年生はハウセンカ。「校長先生、ぼくの花が咲いたよ。」「よかったね。」朝の何気ない子どもとの会話が楽しいひとときです。それぞれ子どもたちの愛情をいっぱい受けて生長しています。

6月28日は「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の瀬谷区審査会でした。6年生の渡邊真悠稀さんが本校の代表として「はばたかせましよう 平和の鳥を」をテーマに緊張しながらも自分の思いをしっかりと伝えることができました。渡邊さんの応援にクラスの10名の仲間が応援に付き添いました。スピーチを終え、渡邊さんを迎える仲間の温かい拍手と笑顔が心に残りました。学校に戻り、その仲間のよさや温かさ、仲間の力に心を動かされたことを伝えると、その中の一人が「これこそ平和だあ。」と、またここでみんなで拍手をして解散しました。

さて、原小学校は今年度、図画工作科を中心に研究を進めています。廊下や教室に展示された作品を見ると、楽しかったことを想像を広げてのびのびと表したり、対象をじっと見つめて表したり、表現している子どもの顔が思い浮かんでくるようです。体全体を使い自分の思いつきや発想したことを、材料や用具で表現する・・・一見簡単そうに見えますが、このプロセスの中で、子どもたちの内面に潜む様々な能力を鍛えていきます。用具を使いこなす能力、形や色を工夫する造形感覚、新しい発想を具体的なものにする構想する力、美しいものを感じ取る力・・・ああでもない、こうでもないという試行錯誤しながらよりよいものに転換していく知恵等々。どの教科も何のために学習するかといえば究極は「生きる力」の獲得です。図工も子ども一人ひとりの「感性」を働かせることを重視し、よさや可能性を引き出し伸ばしていく学習として深めていきます。

「感性」とは、様々な対象や事象を心に感じる働き、価値に気付く感覚と言えるでしょう。私は、すばらしいものをすばらしいと感じ、美しいものを美しいと表現できる力を、大切に伸ばさせ育んでいきたいと思えます。まちの中のパブリックアートに気付くことがあります。また、生活の中で使うものの中に機能的な働きに加え、ユニークなデザインや美しいフォルムのものもあります。子どもたちには、そういうところにも目を向けて生活していくことができるような生き方を創ってほしいと思っています。

### 横浜市教育委員会からの連絡です

横浜市教育委員会事務局 人権教育・児童生徒課

「横浜市いじめ防止基本方針の改定に関する市民意見募集（パブリック・コメント）への協力について」

1 意見募集期間 平成29年6月12日（月）から平成29年7月28日（金）まで

2 資料閲覧方法

ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/bunya/ijimehousinn-ikennbosyu/20170608131757.html>)

3 意見提出方法

次のいずれかの方法により、ご提出願います。

(1) 電子メールの場合 電子メールアドレス: [ky-kaitei-iken@city.yokohama.jp](mailto:ky-kaitei-iken@city.yokohama.jp)

(2) 郵送の場合（専用用紙があります）

〒231-0017 横浜市中区港町1-1 横浜市教育委員会事務局 人権教育・児童生徒課宛

(3) FAXの場合（専用用紙があります） FAX番号: 045-671-1215

4 その他